

一茶ゆかりの里四季の俳句会（平成二九年四～六月分）

選者 志やくなげ 荒井智雄 先生

特選天 抹茶碗回せば揺らぐ花の山 群馬県 田村洋子

雅趣の中、茶席と花の山が一体と
なつた句

特選地 八十路入る記念の植樹赤きバラ 群馬県 竹刈てる子

老いの「青春」とこれからの生きざ
まを示す句

特選人 孫帰り矢車の音風となり 群馬県 竹刈千恵子

賑やかだった孫が帰り、急に静かにな
り鯉幟の矢車が楽しかった孫との
思い出に浸り、孫の健やかに育つ願

入選 茄子苗を買ってひと雨待っており 群馬県 鈴木百合子

入選 落ならば伽羅煮が良いと夫の声 群馬県 仙田美名代

入選 群るうずらどれが親やら山笑う 群馬県 佐藤かずえ

入選 フラミンゴ一本足軽々桜舞う 群馬県 河上和子

入選 逆さ馬残りし浅間山開き 群馬県 滝沢照香

入選 父の日のクール便着きはしゃぐ母 群馬県 山口岩美

入選 萌ゆる芽のどれもやわらか瀬音立つ 小諸市 滝澤宏司